

福島民報

2017(平成29)年
12月8日
金曜日

発行所
福島民報社

福島市太田町13-17
(郵便番号960-8602)

電話代表 (024) 531-4111
編集局531-4122 広告局531-4153
事業局531-4173 販売局531-4175

購読のお申し込み
☎0120-373437



東北鑑評会
全国新酒鑑評会金賞受賞
17年連続金賞受賞



名倉山
http://nagayama.jp

日本全薬工業(郡山)知事賞

第3回ふくしま産業賞

民報社賞

林精器製造(須賀川)
向山製作所(大玉)

ふくしま産業賞

主催一福島民報社
共催一県、県商工会議所連合会、県商工会連合会、県中小企業団体中央会、福島経済同友会、県経営者協会連合会、県中小企業家同友会、JAGグループ福島、県森林組合連合会、

県内の優れたものづくりや先進的な取り組みを展開する企業、団体個人を顕彰する福島民報社の第三回ふくしま産業賞(ふくしま産業賞)の受賞企業・団体が決まった。最高賞の知事賞に日本全薬工業(郡山市、高野恵一社長)が輝いた。福島民報社賞に林精器製造(須賀川市、林明博社長)が輝いた。

奨励賞

中屋伝左衛門鋸こうば(会津)
トラスト企画(いわき)



日本全薬工業
高野恵一社長



向山製作所
織田金也社長



林精器製造
林明博社長



中屋伝左衛門鋸こうば
五十嵐征一代表



トラスト企画
宮野悦甫社長

三回目の今回は過去最多となる百九件の応募があった。福島地域創造支援センター客員教授の西川和明氏を

座長とする専門委員会に入り、最終審査の選考委員会で旭化成相談役の蛭田史郎氏(いわ

き市出身)を選考委員長とする選考委員六人が各賞を決めた。

知事賞の日本全薬工業は動物用医薬品の研究・開発から製造、販売まで一貫したシステムの確立や世界初となる新薬開発などで、国内外から高い評価を受

40社・団体たたえる

表彰式は来年二月十六日午後一時から、郡山市のホテルハマツで

行われ、四十社・団体をたたえる。式後は受賞企業・団体と関係者の

の交流会を開き、情報交換や販路開拓の場とする。



知事賞	日本全薬工業(郡山)
福島民報社賞	林精器製造(須賀川)
福島民報社奨励賞	向山製作所(大玉)
中屋伝左衛門鋸こうばトラスト企画(いわき)	
金賞	藤田建設工業(棚倉)
まるせい果樹園(福島)	
銀賞	アサヒ研創(郡山)
木之本漆器店(喜多方)	
エスク(矢吹)	
太郎庵(会津坂下)	
仲田種苗園(石川)	
クリフ(福島)	
山川印刷所(福島)	
特別賞	NPO法人チームふくしま(福島)
三義漆器店(会津若松)	
耐南商事(会津若松)	
やない製麺(福島)	
セイユー建設(相馬)	
いととんぼ(南相馬)	
エナジア(郡山)	
カミノ製作所(川俣)	
NPO法人素材広場(会津若松)	
東日本計算センター(いわき)	
いわき信用組合(いわき)	
須賀川瓦斯(須賀川)	
NPO法人みどりの杜福祉会(いわき)	
NPO法人ふくしま飛行協会(福島)	
光大産業(本宮)	
みやこじスイーツゆい(郡山)	
羽田工業所(南会津)	
NPO法人みなみあいづ森林ネットワーク(福島)	
フルーツのいとう園(福島)	
福島ガイナックス(三春)	
ももがある(福島)	
磐栄ホールディングス(いわき)	
HARIO ランプワークファクトリー小高(南相馬)	
荒川産業(喜多方)	
白亜館(会津若松)	
ホームペーカーコーピヤマ(会津若松)	

※各賞はエントリー順

特別支援学校新設地区

安達、伊達、南会津に

県教委方針

新たな特別支援学校の開設を検討していた。県教委は来年度以降、安達、伊達、南会津の三地区に新校を設ける

方針を固めた。月内にも指針となる整備計画を策定し、地域住民や障害がある子どもらの意見を聞きながら新し

い学校の開設場所などを決め、早期の設置を目指す。(二面に関連記事) 七日の県議会十二月

定例会の代表質問で自民党の太田光秋議員(南相馬市・相馬郡飯館村)の代表質問に鈴

木淳一教育長が答え

た。整備計画では現在、特別支援学校がない安達地区(二本松市、本宮市、大玉村)、伊達地区(伊達市、桑折町、国見町、川俣町)、南会津地区(下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町)を新たに設置地区とする。

開設によって、通学時間の短縮に加え、地域と連携したきめ細かな内容が決まった学校から順次、設置する方針だ。

い教育が期待できる。開校する市町村や時期、知的障害支援や肢体不自由支援など学校の種別は各地区の実情を踏まえ関係市町村などと協議する。具体的な内容が決まった学校から順次、設置する方針だ。

県教委によると、県内の特別支援学校の児童・生徒は増加傾向にある。今年度は県内二十五校に二千二百七十一人が通学しており、十年間で約三百人増えた。一方で地元で特別支援学校がない地域では、遠方へ通学するほか、自宅を離れて通学で生活する児童・生徒もおり、各地方の市町村や保護者から新たな学校の設置について要望が上がっていた。

お天気	きょう	あす	12	18	24時	9日	10日	11日
福島	20	60	20	20	8	20	20	40
会津	20	60	20	20	8	20	20	40

任期満了 一月二十八日 無投票の 市喜 無投票の公算大